

# ユーカリ樹の實に就て

膳 眞規子

ある梅雨中の頃でした。大阪より程遠からぬ阪神沿線なる蘆屋の里の閑靜な別邸に友達を訪ひました。廣々とした庭前に足の踏み入る餘地なき迄にユーカリ樹の實が落ちて居りましたので之れを少々戴きたいと申ました處澤山に有つて毎日々々捨場所に困つて居るのでお持ち歸り下されば誠に仕合との挨拶、夫れでは明日大阪へ自動車の便があるから持たせて上げますとの事で誠に嬉しく存じました。私の此實を戴きます目的は、幼児が木の實を拾ひます事を好みます處より、競争的に拾はず遊戯を作くらうと存じまして拙きながら一つ作りました處幼児より案外歓迎せられました。其

遊び方を述べますれば、種々な木の實、木の芽、木の葉、松の實（松かさ）栗、銀杏等遊戯室に多量に散布して幼児を二組に別ち歌を謠はせまして歌の終迄之れを拾はせます。其唱歌は木の實拾ひ遊戯

一 木の實が澤山落ちてある あそこに一つ二つ  
三つ此處にも四つ五つ六つ七つ八つ九つ二十  
二 皆さん一緒に拾ひませう拾つた木の實は右左  
二つの籠に分け入れてどちらが重いかかけませ  
う

右左二つの籠に拾ひ入れた重量を歌の終りし時天秤にかけ重き方を勝と致します。此拾ひ遊びの材

料に此ユーカリの實が至極よく、踏みましても他の實の様に割れませず誠によき材料と存じまして頂戴致しましたので御座います。翌日蘆屋の里よりは凡一斗餘りも自動車で持つて来て下さいました。又之れを拾ひ遊びの他に玩弄させました處種々と幼児に巧なる工夫をして興味深く遊びました事に又々大に學びました。

今一つの岸和田舊城内鳩巢幼稚園に有るユーカリ樹は實に立派な大木で此園主佐藤ます子先生の御誕生紀念に父君が蒔かれたもので實に美事に成育して年々澤山に實ります。此種は最初有名なる京都同志社の創立者新島襄先生米國より持ち歸られたものを佐藤氏の父君がます子女史の誕生に際し蒔かれたもので、實に由緒深きもので御座います。此ユーカリの實は私在职中毎年約を違へず、佐藤先生は此實の尤も盛に落下する梅雨期に拾ひ集められて必ず持參せられ、園兒の爲め實に感謝する

次第で御座いました。私引退後は絶えて無音に打ち過ぎて居りましたが五月の二十五日神戸幼稚園長望月氏の渡米されますに付き、送別會を催すとの案内を得て出席致しました時に佐藤先生に久し振りで御面會し嬉しく存じました。例のユーカリの實の話が出まして、昨今澤山に落ちて居る事を承り、在职中の御厚意を思ひ出し感謝の念禁ずる能はざりし。其際申兼ますがユーカリの實少々でよろしく東京迄御送り下され度御願ひ致しました處、御快諾下され澤山に小包便で送つて下さいました。之れを或幼稚園或會へ持參致しました處何れも歓迎して下さいました。此ユーカリ樹は關東には餘り見受けませんが、本年四月花の頃鎌倉瑞泉寺に參りました處、此寺院に此樹の大木が有りまして關東では稀に見るもので御座いました。此寺院は關東十刹の第二で後醍醐天皇の嘉曆二年（紀元一）に建て開山は夢窓國師中興の開基は足利基

氏である。此ユーカーリの種を蒔きしは嘉永六年米國の提督ペルリの浦賀に來航せる際此種を得たるものの由當時の住職は吉田松陰氏の伯父なりしにより松陰氏も屢々此寺に來られしと。最近此ユーカーリ樹の下に松陰先生の紀念碑建設の計畫有る由私が此寺に参りました時はユーカーリの實がそろそろと落ちて居りましたので少々拾つて歸りました。昨今は定めて澤山落ちて居る事でせう。

此ユーカーリ樹は關東地方には餘り見受けぬ様で御座いますが、關西地方殊に阪神地方では随分諸處に繁茂して居りまして五六日の頃には一番豊富に落實して居ります。此程御茶の水幼稚園堀主事先生の御話に米國では此實を糸に繋ぎ磨いて美しき首飾りにして居るとの御話を承り之れも幼兒の努力により一層興味ある愉快の事と存じました。

以上此ユーカーリ樹の有る土地には昨今實の豊富なる期節で御座いますので申上げましたが幾分

の御參考となりましたら仕合で御座います。左にユーカーリの實を以て幼兒の玩具化せしものを記す。

- 一、狗 藥 形體のコマに似たるを以て中央に穴を明け竹を通す
- 二、喇 叭 竹の柄を付け玩弄す
- 三、柄 杓 實の中を穿ち竹をさして柄とす
- 四、繋ぎ方 實の中心を錐にて穴を明け糸又は針金又は細竹を通す
- 五、まま事遊びの客器 實の蓋を使用す
- 六、冠及帽子 實の蓋を人形遊びの節に用ふ
- 七、實の蓋を以て客器の模様裝飾に用ふ

以 上